夕刊
いわき民報
発行所
平市田町四八番地
いわき民報社
電３８１　１２２２

松虫にもてもわかぬ人と居り
平市材木町（桜小路）
割烹　さるだ
電話四三六番

一町三ケ村と合併決議

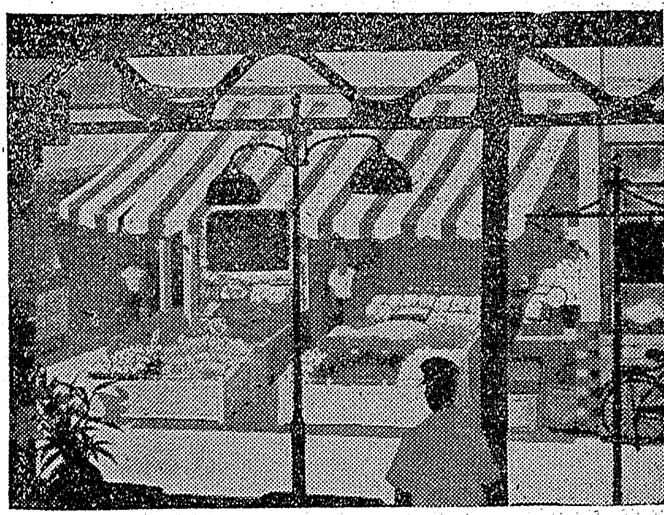
十月一日に發足

平の人口六万三千に

一町三カ村との合併を決議する急施平市会は十六日午後一時半から開き、豊間町、高久村、夏井村草野村の廃置分合の処分申請（この一町三カ村を廃し、その区域を平市に編入し、この処分方を県知事に申請するもの）始めこれに伴う▼町村の廃置分合による財産処分の件▼国民健保の実施区域及び規約設定の件▼平市の建設計画など関係議案を満場一致承認、こゝに待望の一町三カ村を十月一日から平市に合併させることに決定した、この決議に基き来る九月の県会に県知事から正式に提案され県会の承認を得ることになるが、これによつて大平市の実現をみることになり、人口は一躍六万二千五百五十九名（二十九年一月一日現在）一万二千六百四十五世帯となり、面積も九十四、三七平方キロと約倍に拡大されることになつた

城坂踏切　またも結論なし

平市跨線橋建設促進委員会は十六日午前十一時から諸橋市長、金吉議長ほか全委員出席委員会室に開き協議したが、強口、鈴木（寅）真木委員らの主張する城坂踏切り問題はさておき、国鉄が市当局と約束した平安橋との連絡橋を建設してもらうべく運動し、その後に城坂踏切り問題に対処すべきだという意見と大嶺（庫）野沢の各委員の主張する国鉄の要望する城坂問題を先ず解決し、連絡橋はその後に交渉すべしとの意見が対立して結論なく、当日の市会に諮かることが出来なくなつたので二十五日の市会協議会に再討議の上諮かることに変更した、なおこの日には一町三カ村の合併による単位消防団結成の要望もあるところからこの問題も検討され、二十七日から開催される定例市会に提案されることになつている



院展に見事入選

院友　齋藤畫伯

郷土出身日本画家斎藤防震画伯は開催中の第卅九回日本美術院展に「日盛」を出品見事入選した、駅の開札口から向う側の果実店を描いたもので五尺五寸×四尺の大作で好評を博している氏は日展から院展に来て日は浅いが以前に入つていた関係や手腕力量が認められて今年院友に推挙され洋々たる前途が約束されている、来年は更に精進して制作に日数をかけモチーフを選んで大作を物にしたいと張り切つている（写真はその日盛）

副團長を任命

内郷市消防団（団長佐藤三平氏）では十六日前副団長吉田吉五郎氏の辞任にともない後任として第四分団長小野龍蔵氏を任命した

三級地指定を陳情

あす人事院次長らと會議

北海道及び東北人事委員長会議は十七日午前九時から常磐市山形屋旅館に開催されるが、これに先立ち十六日午後一時一分着列車で人事院給与局次長慶徳庄意氏が来平午後一時二十分から平市役所で、諸橋市長、丹野市職組長勝呂郵便局長、背田平放送局長ら関係官公庁代表らと面接、平市の事情を聴取したが、市当局では平市は一時二級地に指定されながら一級地に格下げされた不満や、一町三カ村の合併によりこれらの地域も平市同様に取扱つて慾しい、平市は県内でも物価の高いところで福島市なみに三級地に指定して慾しいなど陳情した、三級地になると公務員の勤務地手当が一割五分となるもので二級地は一割、一級地は五分となり、公務員の収入に多大の影響があるもの、なお慶徳氏は十八日磐城市始め常磐、内郷の各市の情況も視察する

四倉加工組で役員改選

四倉町水産加工組合定例会総会は去る十三日午後一時から同町新町加工組合事務所で組合運営について協議したほか、役員改選が行われ次の諸氏が選任された

▼組合長長谷川新太郎▼理事古市治平、大和田重太郎、松本亀吉、浜田幸次郎▼監事大和田藤太郎、鈴木浜吉

老人達も隠し藝

和かに四倉町敬老會

としよりの日の十五日四倉町では満七十五才以上のお年寄り百三十名を本町柏屋旅館にご招待した、残暑もはげしいなか定時（午前十時）に遅くれてはとお年寄達はごの会場へとつめかけた、会場には婦人会役員が待ちうけ笑顔で迎え階段を登る時は付添つて席へ座らせるなどその親切さにお年寄達は涙を流して喜んでいた、男女別にお膳が並べられ花沢町長の挨拶、小中学生の老人に対する感謝の祝辞があつて婦人会員手製の「前掛け」が贈られた、余興に入つて婦人会員の四倉音頭、さんさしぐれの踊り、これにこたえて老人達も隠し芸を披露に及ぶなどなごやかな一日を過した

商工會議所

十八日常磐市で創立

常磐市商工会では十八日午後一時から市公民館ホールで商工会議所創立総会をひらき定款規約の審議並びに役員の選任等について協議発足する

磐城仙台間に直通電話

サンマ解禁の利便に

磐城電報電話局（局長新妻新蔵氏）ではサンマ漁解禁に伴う市外通話の疎通緩和の一環として磐城―仙台間直通電話線を九月初めから開通した、小名浜港所属のサンマ漁船の大半が主漁場の宮古沖合に出漁中であるため漁協組船主漁船間との市外通話が頻繁に利用されるところから磐城―仙台間直通一回線を十一月末日まで臨時的に開通したもの、このため従来まで仙台間およそ三時間かゝつた待合せ時間はおよそ十分間に短縮され利用者から好評を得ており仙台局経由の市外通話も三十分から一時間早くなつたわけ

新妻局長談＝今回とつた臨時措置はサンマ漁解禁のため一応十一月末までとなつておるが漁況によつては期間が延長されることもあろう、このほか今秋、磐城―平間市外線二回線が増設され併せて十二回線になる予定、このうち一回線は磐城―東京間直通回線に切替新設したいと考えている

四倉―小川郷線縣道

十月改良工事に着手

四倉町当局では四倉―小川郷停車場線県道の改良工事を陳情中だつたが植田県議らの尽力に依りこの程県から決定の通達があつた、この改良工事は四倉町館立給水塔から同町田戸迄の延長三百米、工事費用百万円で十月下旬着工されることになつた、旧道路はカーブが非常に多くもつとも危険地内とされていたもので完成が期待されている

八月の扶助額

磐城市福祉事務所では八月中における扶助費支給額などについてこの程開催した連合民生委員協議会で次のように報告した

八月中の扶助費総額は百二十三万五千四百四円で七月分に比べ四十九万九千四百八十一円の増し、この八月分を地区別にみた場合は小名浜地区が最も多く六十四万二百九十九円（世帯数五百九十三）次いで江名地区の二十七万九千十一円（百九十八）がこれに次ぎ種別では生活扶助費の八十万九千五百二十八円（扶助世帯数三百四十）が筆頭で七月分より二千八百七円多く十一世帯の増しとなつており教育扶助費二十七万二千八百二十六円（二百四十二）医療扶助八万九千九十円（百七十七）住宅扶助五万八千八百六十円（百四十五）生業扶助三千円（一）葬祭扶助二千百円（一）の順となつている

事業税の納入

僅かに二割

二十九年度第一種事業税第一期分四百四十万円の納期は八月末日で締切られたが、石城地方事務所税務課に集つた納税額は僅か二割弱の八十万円、六千六百万円の二十八年度滞納整理も未解決の同課では納税率の悪さに手をこまねき、近く督促状を発送する

住宅の入札

磐城市では公営住宅七十四戸の建設請負工事の入札を十八日午前九時から始め十時開札で決める、建設敷地は目下物色中だが、取りあえず請負業者を決定する

前農委に記念品

植田町の前農業委員左記二十名に対し十五日植田町では感謝状と共に記念品（鉄瓶一個）を授与した

櫛田穣　藤田康男　荒木金次
赤津平男　櫛田力　鈴木一雄
高木一郎　高木忠勝　小野史郎
小沢利一　赤津倉蔵　猪狩実
八代康明　内藤發一　佐藤録雄
平井清一　柳藤徳太郎　磐田豊
酒井勇　竹原周道

水爆禁止へ署名運動

磐城市原水爆禁止運動促進会では十五日午後一時から市役所で役員会を開き同運動の性格を決めたのち、各種団体代表者など約百五十名を幹事、顧問に推薦したほか十七日ごろから署名運動を行うことに決定した

天気予報

十六日

【今晩】南の風晴一時曇【明日】南のち東よりの風晴時々曇一時俄雨の降るところもあろう

海上、今晩はおだやかな方、明日は多少風波がある、早ければ明晩遅くから明後日はウネリと風波が高くなりシケのオソレがあるから気象注意報に充分注意下さい

物見カ岡

学者の話もあまり当にならぬ、長雨が続くとビキニ島でやつた水素爆弾のためサンゴ礁のゴミが舞い上つて太陽を蔽う結果だろうなどと発表した▼どうもウソのような気がしていたが今日の新聞を見ると気象に関係がないと書いてある、去年は冷害で更振り米が穫れなかつたとウソをついて少ししか供出をしなかつたところその代金が少ないので大変困つた▼それで今年は正直に収穫量を届けるという農家が多いそうだ、ウソをついて余した米をヤミ売りしても金ガサにならず農業経営の役に立たなく小使銭になつて仕舞うそうだ▼その証拠に平年作は確実となつたら一升八十円の投売りも出たそうで米のヤミ値は近ごろガタ落だという▼ウソの元締横綱は税金、特に所得税の申告だろう、全く正直に届けると破産する、二重帳簿などを作るのはこのためらしい、或る人が一銭も誤魔化さず届けたらタンスも長持も無くなつたということである▼国が上手にウソをつけということを教えているようなもの、ウソもたしかに方便ではあるが現在のようにウソが世にハンランしていては困りものだ▼人のいうことが半分ぐらいしか本気に出来ないようでは生活は楽しくない、ウソの少い世の中にしたい。

服装美の一大祭典
M式あみもの
秋のファッションショウ
いよいよ18.19日平市公會堂において開催
★モデル伊東絹子ら４０名
１８日午前１１時４０分平着
★編物だけのファッションショウではない古代から現代に至るまでの服装の流れをくんだ美の祭典である
学生証持参の女学生に１８日（土）の部を半額（百円）に割引　５００名様限り
會員券取扱所
履物と洋傘　てんぐ屋　ひかり座前
手芸材料とダイヤモンド毛糸　ハシモトヤ糸店　銀座通り
銘菓〃平餅〃　松月堂　銀座街
靴のメーカー　スガタ靴店　二丁目銀座通り
衣料品のデパート　鈴藤　三丁目
M式編物機　ニュースタイル社平分店

新生 三市の今昔

鈴木光四郎

常磐市の巻

磐城市に次いで常磐市が誕生した。湯本と磐崎との合併によるものである。西郷の貝塚から見れば最も早く開けたのは、この附近ではなかろうか、水の谷の辺も、海岸線に近かつたものと思われる。傳説によれば古代（一九〇〇年前ごろ）近江の人岩那、磯那の両人が佐波古の里に来り鶴が湯の中で傷口を洗つていたことから湯本の名称が起つたとか、或は狭い「サワツコ」という方言が佐波古、三函となつたといわれている。千余年前に作られた和名抄によれば、湯本、磐崎は磐城郡私部郷に属し湯の郷といわれていた。大同のころ（西八〇六年）に徳一大師によつて創られた湯の嶽観音の詠歌に

みつはこの
まつりいりたる湯の嶽
のふもとの煙いつもたえせぬ

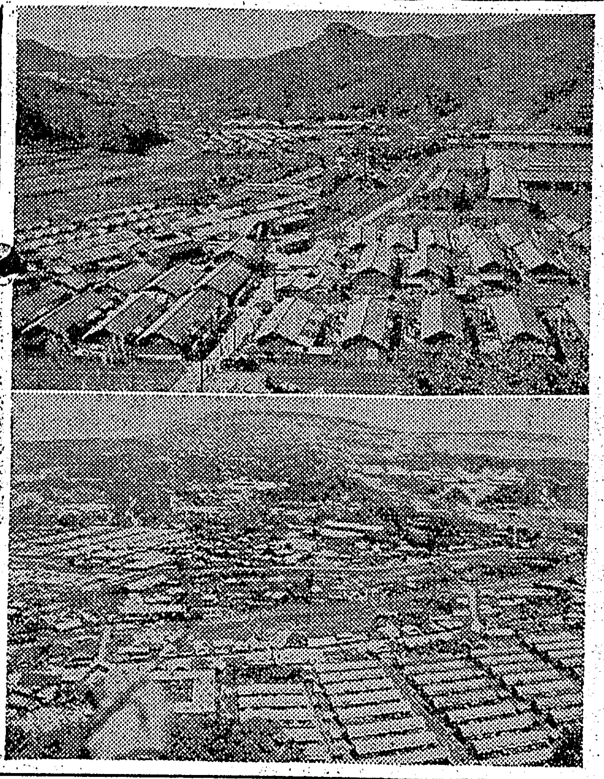
があるが、この「煙」は石炭の露頭の自然発火のけむりか、又は温泉の湯のけむりかは明かではないが興味ある問題である。それは湯の嶽のふもとが石炭の露頭が発見された所であるからである。源平の戦のはげしい文治のころ（西一一八五年）には、岩城隆久は岩崎三郎と称して、この地を領していたといわれている。南北朝の延元元年（西一三三六年）には足利勢の相馬胤平は三箱堀坂口にて石川兇徒結成氏と戦を交え、平の高月の伊賀盛光は湯本城に於て湯本少輔と交戦し、これを生捕り足利尊氏より軍忠状を賜いたと飯野文書、國魂文書、相馬文書には記されている。このころの石城地方は北朝の足利氏の支配下にあつたことは明かである。慶長のころ（西一六〇二年）には平城主内藤政長の支配下にあつたが、寛文のころ（西一六六一年）には政長の三男政亮は湯長谷の新開地一万二千石を与えられ平藩の分家として独立したが、湯本は天領となつてしまつたのである。

幕末の安政二年（西一八五五年）に大浦村の片寄平蔵が彌かん沢に於て石炭の露頭が発見されてから宮、川平、小野田方面に炭鉱が開発された。殊に小野田鉱は現在にいたるまで採炭が続けられているが小野田鉱は、はじめて機械力による組織的な開発が行われたのである。

続いて明治十六年（西一八八三年）には、渋沢栄一、浅野総一郎の両氏によつて磐城炭鉱会社が、二十八年には白井遠平氏によつて入山採炭会社が設立され湯本は温泉の町、炭鉱の町として発展した。この間、入山の地下に熱湯が流出して湯本温泉の休止など幾多の問題が起つたが見事に解決されて現在にいたつている。

磐崎は八カ村
湯本は三カ村

旧幕時代の十一カ村が常磐市を形成している。



（写真は上常磐市、下内郷市）

常磐市の現況

太平洋戦争が勃発せんとした直前の昭和十九年には年来の問題であつた磐城、入山の両会社が合併して日本屈指の大会社常磐炭鉱株式会社に発展し常磐市に本拠を有することゝなり、常磐市は名実とも常磐炭田の中心地として湯の町として栄えるようになつた。人口四万三千人、炭鉱住宅一万五千戸東北一を誇る公民館を建設し、その将来は益々期待されているのである。

内郷市の巻

常磐市に次いで最近単独市制をしいたのが内郷市である。高坂や上の台などに縄文遺跡があることから見て、このあたりが早くから聚落を形成していたのであろう。千余年前には磐城郡飯野郷に属していたと和名抄に記されているが平市と同じ飯野郷に在つたことも今後に教えているものがある。内郷市の誇る第一は白水の国宝建造物阿弥陀堂である。阿弥陀堂を知らずして石城の文化を語る資格なしとの論さえ起つている。源平の戦のあつたころ、常陸の国の平則道が奥州平泉の豪族藤原秀衡の姪女徳姫を娶り岩城氏を称して石城地方を支配したと傳えられている。則道早死の後、徳姫は佛門に入り徳尼となつて夫の冥福を祈つて白水に阿弥陀堂を建てたという傳説は余りにも有名である。最近願成寺住職の赤士氏や白水の菊地氏などの努力によつて明かにされた「白水法華経版木」によつて藤原一門の女性が阿弥陀堂に関係があつたことは次第に明かになりつゝあつて、傳説的説明が史実に近づくのも遠くはないと思われる。阿弥陀堂と五尊体は国宝、重要文化財として再指定されて東北屈指のものとなつている。又内郷には大同の昔の三十三観音の二つがある。一つは第三札所の童堂観音がありその詠歌に

わらうどう・老をたづねて　こう
どうじ　わが行くさきを　きく
は北郷

第四札所の吊し観音堂の詠歌には

白水の　みなかみすめる観世音
岩間をつたふ　長谷の寺

白水の阿弥陀堂と共に内郷市に誇るものは常磐炭田開発地である彌かん沢の地があることであろう安政二年（西一八五五年）石城郡大浦村大森に生れた片寄平蔵が親友高崎今蔵と協力し新川、白水川を溯つて苦心の結果、彌かん沢の渓の中に石炭の露頭を発見した。それまでは平郊外の一農村であつた内郷が一躍して常磐炭田の中心地として脚光をあびるようになり数多の大小炭鉱が採炭を続け炭鉱の町となつたのである。

明治四年（西一八七一年）には白水、宮、高坂、御厩、内町、綴、御台境、小島の各村が内郷町となり最近までは全国第九位の町であつた。

内郷市の現況

内郷市は完全に炭鉱の町となり炭鉱住宅が全市の大半を占め磐城共立病院、国立労災病院、数多い公民館を有し人口約四万に達し石炭輸送の中心地として重要な役割をはたしている。

常磐地域組合開發と四市

開発期成同盟会の資料によれば常磐地区に[illegible]めぐまれた地下資源と交通運輸施設及び労働力を基盤として発達した鉱工業と、古くから行われて来た農林水産を配した産業構成をなしている、その概要を説明すれば

石炭推定埋蔵量	一八億トン
石灰岩推定〃	五千万トン
マンガン	一万五千トン

交通機関としては
常磐線、磐越線、臨港江名線
一級国道六号線

港湾としては
第二種重要港湾　小名浜港

電力としては
只平線による只見電源の利用

などの開発條件に恵まれている。而もその開発の事業計画として

常磐線の電化
平小線の建設
国道六号線の改良
小名浜港の拡張
夏井川、鮫川、四時川用水の確保
都市計画
只見電源の利用

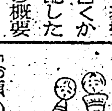
などがあげられている。これらの開発に当つて、その中心地点として連絡強化の役割をはたすのは平市、磐城市、常磐市、内郷市の四市である。この四市は次のような特色を発揮しつゝ大石城市を建設する日の遠くないことを確信するものである。

平市＝交通、商業、文化の中心
磐城市＝漁業、商港、工業、農業の中心
常磐市＝鉱業、観光温泉の中心
内郷市＝鉱業、輸送の中心

以上新生三市の今昔を語りつゝ将来の進展を期待する私見を述べた。石城地方が総合的に開発され石城人に幸福をもたらす日の一日も早いことを念願して、この稿を終る次第である。（昭和二九年八月二十六日記）

新聞、電力、鉄道
―国内の重要産業だネ
―いや値上げの事をいつてるのサ
（啄　すずめ）

新聞値上
―理由は
―販売店に貰つた景品の後払いだとサ
（飯野　太郎）



男と女〔27〕

幽谷露水

「お願いします、お願いします。」三拝九拝喜一郎は必死に哀願したのであつた。

「ハイヤー…？」署長の大きい眼玉がギヨロリと光つた。

いくら哀願しても借りるものはハイヤーである。自転車を借りる様にそう簡単には借りられない。貸す側でもそう簡単に貸すわけには行くまい。

殊に相手は素人であると来ては猶更である。

「古沢君、ハイヤーが先に医者をよぶ事が出来るか、それとも電話が先に医者をよぶ事が出来るかだがね。」署長はゆつくりとこう云つて喜一郎を見た。

喜一郎は余り慌てゝいた為か文明の利器である電話の事をすつかり忘れていた。

忘れていたと云うか思え浮かばなかつたのである。

「あつ、そうでした」…喜一郎ははにかみ乍ら顔を掻いた。

斯くて、彼は電話機にかじりついたのである。ところが電話線故障で平までは通じないと云う交換嬢の金切り声だつた。

ハイヤーはかりられないし、電話が故障と来ては飽く迄文明の利器は何んの役にも立たない。

その時、志乃武が急いで署長宅にやつて来た。

「た、た、大変だ。散子が、散子の容体が悪くなつた。古沢君、署長さん、早く、早く」

志乃武は顔面蒼白、周章ろうばいの態だ。その声はふるえ、その顔は必死だ。

「ええつ」喜一郎も署長さんも署長さん一家族（奥さんの定枝さん、長女の和子、次女の富子、長男の利介君）もみんな驚いて分校に馳せ参じた。

上るのももどかしく、喜一郎は散子の手をとつて脈をとつた。

かすかに脈はなつていた。

みんな不安そうに散子の顔を見守つている時、医者の道具をもつて道具のわきにひようたんがついているものを持つて現われたのは小林老農夫と美代子だつた。

喜一郎は一瞬〃しめた〃と心の中で喜んだ。これこそ神楽山の名医小林老農夫その一人である。美代子は「さつ」と白衣を身にまとつた。その動作の早いこと。

老農夫は静かに一礼して散子の寝顔をじつと見た。

「こりや、ひどいぞ。」

志乃武も喜一郎も「ぐつ」と息を飲んだ。

こうなればこの小林老農夫を頼らねばならない。

美代子は助手をつとめた。

手を取つて脈を見た。

老農夫は首をかしげた。誰もがこの老農夫の一挙手一投足に眼を注いだ。

胸をはだけた。白い散子の胸、隆起した乳房。

美代子は伯父に聴診器を渡した。誰もが「じつ」とこの老農夫の動作と散子の胸に眼を注いだ。胸に聴診器が当てられた。

しばらくして、聴診器は外された。

息づまる光景である。沈黙の数分間である。

「いや、強く胸が打たれてるようじや。」

又も、志乃武は「ぐつ」と息を飲んだ。

「二回、然も、強く打たれたようじや。」しわ深い老農夫はこういい放つた。

又、数分間の息苦しい沈黙が続いた。

老農夫は静かに腕を組んだ。そして眼を閉じた。

一秒、二秒、三秒…

眼を開いた。その眼は光つていた。

「どうじや、皆の衆、わしは藪医者じや。この藪医者、最後の御奉公をしたいのじや。

治るか、誤れば死の瀬戸際じや藪医者にお任せ頂けるかのう。」

一言一句に力をこめながら、喜一郎の顔を見、志乃武の顔を見、署長一家族の顔を見廻した。

喜一郎も、志乃武もコツクリうなずいた。

静かな重々しい夏の夜である。

「じや暫らく、皆の衆はあちらへ行つてなされ。古沢先生は向学のため見ていて[illegible]れ。」

フアツシヨンシヨウ
9月18 19日
於 平市公會堂

★フアツシヨンシヨウは定員制入場になつています★

秋のフアッションショウ公演迫る！
1000名様御招待大売出し 19日まで

特賞 M式編物機1台（価格8・500円）
一等 御招待1000名様
末等 伊東絹子嬢サインスハンカチ又はニツサン石鹸一個進呈
空くじなし
お買上げ300円毎に抽せん券一枚
★1500円以上お買上げの御客様には御招待券一枚進呈

★19日午前11時ころ
伊東絹子嬢ほかモデル全員
三丁目支店に来訪！

純毛トツプ染
呉羽紡アポロ毛糸
カネボーボ　ホ毛糸
カネボー純毛後染
ゴールデン・キング
店頭にて連日 M式編物機の實演

―18日限り有効―
學生優待券發賣
200円のところ100円

RFCラジオ福島
17日午前11時40分鈴藤アワー
….遥かなる國へ….

衣料品のデパート
鈴藤

可愛いお子様の
保健と衛生の御相談は…
電40 1940番へ！
関内薬局

眼科
安田醫院
平市紺屋町電一二二

このあたたかさは母の味！
お母さんのあたたかさはいつの世にも変らぬもの。この毛布を用いられたならいつでも幼ない時のあなたにしてくれます
その上、まことに格安な優秀品揃いですからお母さん方におすすめいたします。
●絹綿毛布　九〇〇円より
●優良〃　二二〇〇円〃
藤越
小名浜
平市

兒童らが通學路修理
湯本二中生 部落民も便利に

（写真は完成した道路を見る賀沢校長と佐藤さん）

常磐市龍力沢地内から通学している湯本二中生徒の若葉会（会長三年比佐修一君）では去る五日、通学道路にしていた学校の東側にある山道が土砂くずれのため通行不能となつてしまつたが、自分達が通る道だから自分達で修理しようと全員が毎日材料をもち集め馴れぬ道具を手にしてこの程立派に完成した、延長約千米道幅約二米、山服をきりひらいただけにその工事振りは専門家さえ舌をまいている、この道路の完成で龍力沢地内から学校までわずか五分位で通うことが出事る、それまでは浅貝地区を迂廻していたので相当な時間がかかつていたもので若葉会の後援会長高崎儆美さん(三)が指導者となつて完成したもので部落民からも感謝されている

賀沢校長談＝場所が場所だけに並大抵の苦労ではなかつたが龍力沢の高崎さんが良き指導者となつてくれたので生徒達も一生懸命になつて作業した、何しろ鍬の使い方までおしえてやるという有様でした、これで学校と家庭の距離も短縮され生徒達も便利になつたわけですが大人をたよらず自主的に然も金もかけずに完成させたという勤労精神は尊いものです

赤行嚢平局で紛失
浪江―平―四倉局行き
中味は現金書留三千圓

去る四日午後五時五十九分浪江郵便局発送＝平郵便局経由＝四倉郵便局向けの現金書留入り赤行嚢が紛失したことがこのほど判明し平郵便局では極力調査中である、行方不明になつた赤行嚢の中味は差出人双葉郡浪江町下柳東北パルプ浪江駐在員、受取人は大野村玉山佐藤三郎氏宛の現金書留（三千円）だけで浪江局では去る四日午後五時五十九分浪江発上り列車で依託送りとして平局経由で四倉局に送つたものである、平局には同夜八時過ぎ確実に到着したことを認めたが十二日を経過した現在未だに受取人はおろか四倉局にも着いていないので大騒ぎとなり捜査中である、浪江局では十四日この手続きを取り事故の調査を平局に依頼したが、不思議な紛失事件だけに注目されている

浪江局の話＝私のところでは四日に間違いなく平局経由で送りました、四倉向けの赤行嚢を平局で開封して他の郵便物と一緒にすることはあり得ません

平局の話＝今調査中です

四倉局の話＝こちらには勿論未だ到着していない、平局で四倉向けに発送して途中で紛失したのか、平局内部で判らなくなつたのか知らないが、平局を中心に探せば判ることゝ思う

各區對抗の野球戦
一週間に亘り

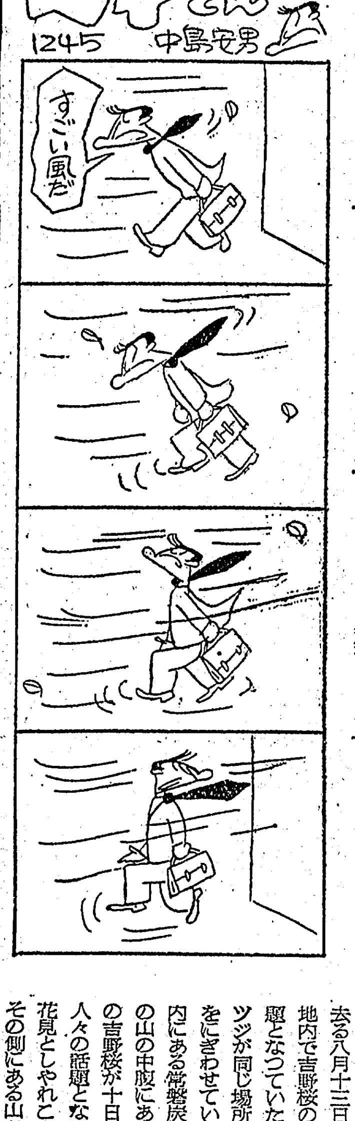
常磐炭鉱労務部では九月のレクリエーションの一環として九月十五日から二十一日まで一週間湯本二小グランドで湯本鉱各区対抗軟式野球大会をひらく、出場チームは上矢田寮ほか十一チーム、トーナメント七回戦で連日午後三時半から試合開始

工學士が自轉車泥棒
十一台を盗んで送検

内郷市御厩町久世原七四無職深瀬誠夫(三三)は自転車窃盗の容疑で植田署に捕まり取調べを受けていたが八月初めから九月十日までの間に植田町で一台、勿来町一台、平市から四台、磐城市から一台、常磐市から四台計十一台の中古自転車を盗んだ事を自供した、誠夫は東京工学院大学を卒業した工学士だが昨年窃盗で懲役二カ年刑の執行猶予中で妻子ある身である、十七日身柄送検

脱走の少年
平でまた捕る

平鉄道公安室では十五日午後七時三十一分平着常磐線上り二三二列車に無札乗車中の相馬市中村濟水学園脱走少年小野某(一七)を発見保護した、調べによると同少年はホームシックにかゝり実家の磐城市字下神白七一に帰る目的で十五日午前十一時ごろ同園を脱走、中村駅から無札乗車したもので去る六日にも脱走平公安室で保護されたことがある


ヘイさん
1245
中島安男
すごい風だ

郷土から四選手出場
東北一周ロードレースへ

第三回東北一周ロードレース（千三十七・三キロ）は河北新報主催で十五日午前九時仙台市を出発、盛岡、青森、秋田、山形を宿泊地として中秋、みちのくの山野千余キロを走破するが、十四日午後一時ごろ、このスタートに先立ち三笠宮殿下が平駅を通過、清水平駅長、佐藤平署長らの見送りを受け仙台に向つた、このレースに郷土からは内郷市高坂町高橋武一君(三三)好間村上ノ原鈴木実君(三一)〃鈴木淸一君(三五)平市鎌田町吉田巧君(一七)が出場するが、この四名は県自転車振興会理事鈴木彌太郎氏のコーチで日立―平間をコースに猛練習を積んでいた、高橋君は秋田―酒田間（十八日）百十一・六キロ、鈴木（実）君は酒田―山形間（十八日）百二十七・二キロ、鈴木（淸）君は山形―福島間（十九日）九十二・八キロ、吉田君は福島―仙台間（十九日）九十二・八キロをそれぞれ走破することになつている

盲ろう校運動會

県立平盲ろう学校運動会は来る十九日午前九時半から同校庭で開催する

里子から作品募集

県では十月四日の第五回里親デー懇談会を石城地方事務所会議室で開くが、里親デーに因み県下の里子達の作品展[illegible]ため、図画、書き方、工作、作文など里子の作品を募集十月二日まで地方事務所で受付ける

心の信號交通安全
標語とポスター入選者決る

常磐署ではこの程交通事故防止運動の一環として市内小中高校児童生徒から交通安全の啓蒙ポスター標語を募集していたが十二日応募作品約五百点について審査の結果次の通り入選した

◇標語▼小学校の部「狭い道路も無事故で広く」松村章代（藤原小）▼中学校部「曲角おつと危いこの後に注意」国井美恵子（湯本一中一年）「安全はみんなが守る規則から」山下政一（磐崎中二年）「かわる信号かわらぬ用心」鈴木克江（湯本二中三年）▼高校の部「心の信号交通安全」薄葉幸子（湯高）

◇ポスター▼小学校の部❶古内端雄（長倉小）❷滝沢弘江（湯本一小）同鬼輪サチ子（長倉小）▼中学校の部❶箱崎洋子（湯本一中）❷大和田貞子（磐崎中）▼高校の部馬場裕子（湯高）

入場税で観客の協力を
税務署で要望

平税務署間税課では入場税の国税移管後における各映画館、興行時の入場券の取扱い状況を調査中だつたが、観客の殆んどがその半ぺんを切取つていないことが判り、これでは入場税徴収の完璧が期せられないとあつて観客の協力を要望することになつた

圖書館運營協議

常磐市公民館図書部では十八日午後七時から同会図書室で図書館利用者を招き図書館への希望運営などについて懇談会をひらく

供米査定がデタラメだ
神谷の堀川氏、市長を訴う

平市神谷字寿命沢四九農業堀川富三郎さん(六三)は去る六月二十六日平市長諸橋久太郎氏を相手取り二十八年度供米の収穫査定がデタラメだつたと地裁平支部に訴え出た堀川さんは二反七畝十歩の水田を耕作、昨年度は凶作で特に病虫害の祟りが多く、神谷農業委員会では一石三升五合の収穫査定をしたが実際は三斗九升五合の収穫しかなかつたというもので、神谷農業委員会の調査の仕方も単に田地を見廻つたゞけで実収調査を行つていないというもの

この第一回公判は福島地裁で去る八月十六日行われ、関場農務課長が市長代理で出廷、答弁書を提出したが、これによると神谷農業委員会では荒川区長らを立合に一筆調査や坪刈りなどを実施、科学的に査定、昨年十一月二十七日には飯用米（二九、七七五瓩）も貸付けしていると反駁しているもので十三日にも第二回公判が行われた平市にとつてはこのような訴訟を受けたのは始めてで〃共済保険金目当ての策略じゃないか〃とみているが堀川さんは東京の弁護士岡崎秀太郎氏を依頼してあくまでたゝかう強硬である

ツツジと櫻が咲く
浅貝に見物人わんさ

去る八月十三日石城郡勿来町窪田地内で吉野桜の狂い咲きが町の話題となつていたが、これは桜はツツジが同じ場所で花を開き炭坑町をにぎわせている…常磐市浅貝地内にある常磐炭鉱上浅貝世話所裏の山の中腹にある樹齢約三十年位の吉野桜が十日程まえから開花、人々の話題となり季節はずれのお花見としやれこんでいたところ、その側にある山ツツジが一本の木に二十からの赤い花が咲き時ならぬ奇観を呈し見物人が押し掛け賑わっている

青少年指導へ
伊東一氏著書發刊

平市三十米道路パチンコ店主伊東一氏は目下、東京都豊島区池袋二の一〇二〇に人生科学研究所を設け、老後の研究として人生哲学に没頭、数多くの著書を発刊しているが今度は文学士三浦建堂氏の監修により「青少年指導法」を発刊した、氏の話によると「青少年の犯罪が昨今とみに増加、日本の将来が危やぶまれる、社会そのものが腐つている時代なれば当然のことだが、手ばなしはゆるされない、私のあゆんできた人生から得た善因善果、悪因悪果の輪廻転換の法を広く世人に理解してもらい〃悪が栄える〃といつた間違つた世人の観方をなおしてゆきたい、私は宗教心をといているのでなく人生万般を科学的に解析、人のためを考えずに自分だけの利益しか考えない時は一時栄えても必ず悪因の祟りがあることを科学的に証明しているもので〃ヤクザのめしをくつた私が今さらながら無駄に過した過去が残念で仕方ないこんなことをしているので一部に狂人だという者もいるが、なやめる者を救うことが出来ればそれでよい」とカクシャクとしている

覺醒剤所持

十五日午後四時五十五分ごろ内郷市綴町町の内地内で五CC入ヒロポン十五本をもつていた同市御厩町下能十二雑貨商野木将(三四)は内郷署長谷川巡査の職務質問を受覚醒剤取締法違反現行犯として逮捕

バレー大會
十八日常磐市

常磐市青年文化協会主催の教育委員会杯争奪バレー大会は十九日午前十時から同市警察署コートで行われるが参加チームは「ジユピター」外四チームでトーナメント制で行われる、第一回戦の組合せは次の通り

❶駒草対ジユピター
❷夜明け対途上
❸クララ（不戦勝）

壽司部
出前迅速
才槌小路店
電話一〇二
☆座敷女中さん
☆料理見習人
数名募集中☆
蒲焼　一五〇円
やながわ　一五〇円
にたり
紅小路店
電話一四五六

賣家
市内二階建、階上在宅二十五坪、階下工場二十八坪、委細面談、仲介お断り
姓名在社（三二）

秋の空―秋の色―ロマンスカーの旅
観光團体募集

行先	日時	発時刻	募集人員	会費お一人様
一、日光（日帰）	九月二十六日（日）	午前四時平発	四十名	一〇〇〇円
一、松島（日帰）	九月二十六日（日）	午前四時平発	四十名	九〇〇円
一、日光川治（一泊）	九月二十九日（水）	午前五時半	四十名	二二〇〇円
一、富士五湖巡り（二泊三日）	十月八日（金）	追通知	二十名	四五〇〇円
一、箱根熱海行（二泊三日）	十月八日（金）	追通知	三十名	四〇〇〇円
一、裏磐梯（日時未定）一泊	（十月六日頃）		四十名	二〇〇〇円

◇座席指定申込受付中　至急御申込下さい満員の節は締切ます
常磐交通内　株式会社常磐観光社

第四回石城酒造品評會
優等賞連續受領
吟香に薫る
天宅
山宗酒造店
平市南町　電三二二

…夏は快的な
ヘア・スタイルで…
それによりまた新しいタイプの御自分を発見出来ることでしょう！
セビリヤ理容院
平市南町54大黒屋西隣

至誠院葬送の際は御多忙中にも拘わらず遠路態々御会葬被下且御丁重なる御粢を賜わり御芳志誠に有難く深謝致します
早速拝趨御礼申上ぐべき処略儀ながら紙上を以て御礼申上ます

昭和廿九月九月十六日

平市五丁目一四
施主　片寄弘文
親戚総代　長瀬緑
　加藤健治
　小野儀八
友人総代　関正雄
　柴田艶子

學生アルバイトと座談會

金の貴重さを體驗（下）

平RC主催　欲しい雇主の計畫性

司會 磐女でアルバイトについった職種はどんなふうですか

吉田 店員五十四名、事務系統十名、七夕造り六名、家庭教師四名、食堂関係二名、アイス製造関係二名、宣傳ガール一名、国鉄海の家の番人一名、雑務手傳六名です

司會 店員が圧倒的ですね

山崎善 希望者が多く求人が少い場合はどうして選考しますか

吉田 クラス主任が決めます

鎌須賀 これが一番困るのですが、求人條件は平市の場合やはり平市内それもなるべく旧市内の者をというのが多くこれには悩んでいます

吉田 私のところでは求人條件は三年生で冬が多い様です

山崎善 大売出しの抽籤などはどうですか

猪狩 同じく立つている仕事ですが冬の寒い設備の不充分な表に立つのでとてもつらい

司會 磐高の就職希望は？

宮内 本年は四百三十名の卒業者中七十名の就職希望で、学校としては余り奨励していません

阿部 磐高の生徒さんは私の店にも来ましたがよく本を読んで勉強している様です

山下 僕達が仕事の暇な時に本を読むのを店の人達はどう思いますか

阿部 私は勉強しているのに悪い感じはしない

岡田 私のところに磐高卒の人がいますが、機械の監視をしながら本を読ましています

山崎善 しかしそれは職場によつて違うので商店ではそうはいかない

船生 店先に立つて本を読まれることは私共では歓迎出来ません

山崎善 一昨年の例ですが磐女から五名抽籤場に来ていました、その中の一人は上級学校を受験するらしく一生懸命職場で勉強し、それを他の四人がかばつてやつているのですが、私個人としては誠に美しい情景だとは思いましたがお客さんに対しては感心出来ない問題で学校側でも選考に注意して頂きたいと思います

吉田 私の学校では進学生と就職希望者をハツキリ区分していますので進学者からアルバイト生を出すことは殆んどないつもりです

野木 僕は進学希望なのですが地方にポスターを貼りにいく時には汽車の中で本が読めて良かつたと思います

司會 要するに職場の選び方ですね

岡田 しかし実際には職場を選べない現況にある訳でしょう

司會 技術を身につける平工は就職率が良いんじやないですか

神谷 昨年は大変よく卒業期に八十%が就職決定しその後会員が就職希望者が就職していますが本年は増えた反面、京浜地区に延べ十三名の教師が求人開拓にいつてますが、緊縮がたゝつて昨年より少い様です

司會 我々もよく就職斡旋を頼まれますが大学生の場合が多いが求人側では却つて専門学校出が高校卒の方を多く希望しているのじやないですか

神谷 逆に工高卒は技術の習得も中途半端で中卒児童の方が良いといわれる、中卒者に会社に側する教育を二、三年ミツチり教え込んだ方が良いらしいです

渡邊 僕のいつたところでは争議というものが全くない、高校卒を入れると組合が強化してストがおこりやすいので敬遠されるといつてました

司會 幹部委員の大学卒はそう沢山必要がないから工高卒が喜ばれるじやないですか

神谷 セメント界は景気が良いので昨年も今年も一人も採用しない、とるのは中卒だけです

岡田 私の経験ではどうも高卒者は腰掛的で長くつとまらない場合が多かつた

司會 我々中小企業者にとつては就職希望者が多くても設備や待遇に失望するのか長続きがしないので高校生は当てにならず一つの悩みです

岡田 大学出は生涯の天職として直黒になつて働いていますが、高卒はどうも綺麗な仕事を好んで長続きしない傾向が強い、学校側でも考えて欲しい点だ

神谷 大体に於いて生徒は大会社を希望し勝ちで、生徒にも頭の切り換えが必要だと思います、皆東京、横浜の大会社を狙つている「大口求人が減つたから」と地元の中小企業に入ることを奨めるがどうも地元商社は腰掛的です

司會 友達が良い所に勤めている、どうも商店の番頭じや肩見が狭いという無言の声が聞える様だ

神谷 どうも地元の商社にゆきませんね、山形や会津から高卒者が沢山平に来て勤めているのですが他の市の平市と同じ位の商社があればゆくのですが…

司會 私も大学は出たけれどの時代で就職難が深刻でしたが、現在も劣らぬ深刻な時代ですから生徒諸君も相当真剣に考えるべきだと思います

渡邊 僕はアルバイトをやつて働いて得た金の貴さが漸く判りました、映画を観る百円の金が一日汗まみれになつて働いて漸くとれるので、今までの十円に対する考え方が判りました

鎌須賀 私はこのことだけを雇傭者の方に切望したいのです、よく成績が優秀なのにも拘らず、夕片親がないとかいう肉親関係に恵まれていない生徒が就職出来ないことが多い、少くともこの傾向だけは避けて頂きたい

出席者（敬称略）

▼平ロータリークラブ
社会奉仕委員長　鈴木新右衛門
同委員　山崎忠兵衛
職業奉仕委員　阿部順吉
一般情報委員　山崎善兵衛
副幹事　岡田健治
大黒屋主人代理　船生守
▼磐高
教諭　宮内三良
三年　野木孝夫
▼磐女
教諭　吉田一胤
三年　木村年江
〃　中軍俊子
▼平商
教諭　鎌須賀鉄彌
三年　岩原千局
三年　猪狩倭江
二年　山下武治
〃　坂本幸子
▼平工
教諭　神谷清水
三年　大和田等
三年　渡辺次郎
（順不同）

牛馬の検査

磐城市では子牛馬の生産検査を次の日程で行う、子牛は本年六月までまた馬は本年中にそれぞれ生れたもの、同市泉の室屋獣医が検査する、検査料は一頭につき五十円

▼十八日午前九時より江名支所
▼十八日午後一時より鹿島支所
▼二十日午前九時より玉川支所
▼二十日午後一時より泉支所
▼二十一日午前九時より渡辺支所

いわき俳壇

磐城市俳句會

磐城市句会の名月句会は十一日午後七時より同市永崎公民舘日本間に日本水素鈴木朱麟子氏を迎えて開いた、入選句次の通り

兼題〝月〟

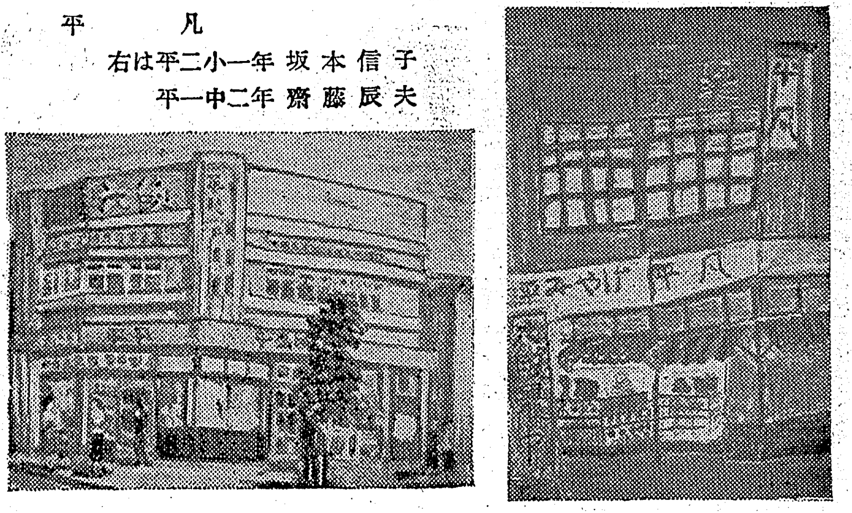
月の砂丘靴底へ砂やはらかし　朱麟子
満月のマストにもたりて口笛吹く　可水
月白しきりりと寄せらる子の単衣　親司
名月や母に抱かれてつぶらな目　渓風
漁夫の背の光りかいりて波止の月　竹林
満月や牛は巨体をさゝへおり　一舟
日雇婦坂上り来て満月に会ふ　秋女
月の出の厨貧しく妻唄ふ　秋歩
月登る農夫の肩に動く鍬　かつし
月の道時計鳴らせて抱き帰る　与四男
堂守りの逝くや月下の堂あるる　紀代女
漁夫なれば舟べり叩き月に酌む　其城
病床の心の乱れ月に澄む　一突
ひれふしておろがむあとの月溶し　丘窓
月待ちて何を祈らん二十三夜　竹泉
門入ればカンナ目につく月明り　至文
望月のバイカルに冬のしのびきつ　芳舟
月上り砂丘は寂と展けゆく　海風

席題〝当季雑吟〟

蟻の濱乱す神父が打水して　可水
患者らはぶどう豊富に供へけり　紀代女
きつゝぎの啼きて病者の窓放つ　丘窓
礁くらし月光へ潮巨きく落ち　朱麟子
水がめに金魚放ちて我家は健　秋歩
秋うらゝ泣きほくろより泣くという　滋女
空深き明月波濤刻みあふ　親司
舗装成り炎天の影確然と　与四男
炎天や車[illegible]裂きて喉喝す

平　凡

右は平二小一年　坂本信子
平一中二年　齋藤辰夫



本社主催　圖畫入選作品紙上展

今晩のラジオ　16日

◇NHK 一三六〇KC
六・五五 （郡）四局通信
七・三〇 浪花演芸会
八・〇〇 歌の花ごよみ　小畑ほか
八・三〇 「由起子」津島恵子
九・一五 エンタツ人生模様
九・四〇 （福）常磐津
一〇・一五 「おかめ八目」
一〇・四〇 映画音楽集
◇ラジオ福島 一〇六〇KC
六・三〇 ラジオ演芸欄
七・一〇 わたしの歌
七・一五 音楽劇「母をたずねて」
七・三〇 唄うパラマツクスアワー
八・〇〇 講談「旗本退屈男」
八・三〇 お笑い回り舞台
九・〇五 平凡アワー　美空ひばりリサイタル
九・五五 浪曲
一〇・〇五 名作「信子」
一〇・三五 ハモンドオルガン

今週の映画　15日＝21日

★平館　夜七時五分
ブロードウエイの寝室　芸者秀駒　びつくり五十三次
★民劇　夜六時四六分
ねちよりんとんの巻　お尋ね者　黒い湖
★聚楽館　夜六時五五分
月蒼くして　ブラボーとりでの脱出
★ひかり座　夜六時四〇分
平原の勇者　第十一号監房の暴動
★世界館　夜六時四四分
霧の小次郎一部　暗黒街の脱走　花の白虎隊

グレンミラー物語
お待兼ねの名作！
22日から歴史的公開
前賣券發賣中
大人九〇圓　學生七〇圓
當日大人一二〇圓　學生九〇圓
ジェームス・スチュアート　ジューン・アリスン　主演
ルイ・アームストロング　ジーン・クルーパ　共演
前賣所
大通り　高野文化堂
才槌小路　平運動具店
一丁目　金澤屋
三丁目　三幸
四丁目　マルトモ
六丁目　佐藤太鼓店
同時上映　命を賭けて
トニイ・カーティス　ジョン・ドルウ
ひかり座

新しいDPは富士
[illegible]
平市菊町　電三〇四
カメラは田中

ゼネラル
シャープ
オンキヨー
高級スーパーラジオ
10カ月　6カ月　月賦
一番簡単な契約方法によりお求めになれます
酒井無線
平市五丁目電1990

産婦人科
中田医院
平市材木町聚楽館前
電話一〇九七番

平運動具店
平市才槌小路
デンワー〇8

洋服の店
平指定商加盟店
背広 三ッ組
オーバー
ジャンパー
ズボン
★平指定商チケットを御利用下さい
㊟ 丸恵屋
平市中央通り電1853